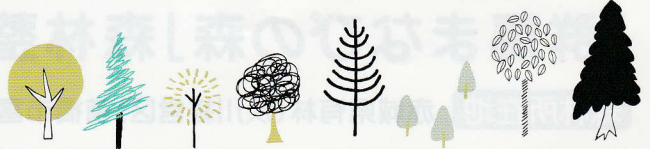


NPO 法人フォレストぐんま 21

は せ が わ ひ さ

長谷川 比沙 さん

森の整備は地道な作業ですが
継続して取り組みます！



■ ■ ■ ■ ■
森林整備活動を始めたきつ
かけを教えてください。

長谷川 子供の頃、野生動物が食糧不足で人里に下りて来てしまうニュースを見て、森は整備しないと豊かにならないところなんだ...その時は、ただ漠然と思っているくらいでした。大人になって地球温暖化などの環境問題を考えるようになった時、林業の担い手が少ないことから「林業女子会」が各地で活躍していることを知りました。女性も活動

できると分かり、その後、県内のボランティア団体を調べ始めました。ただ、林業経験が無かったので、作業体験してから加入を考えた方がいいのかなと思っていた頃、森林ボランティア支援センター主催の安全講習会があるのを知って、申し込んだのが活動のきっかけとなりました。参加できて良かったです。そして、この講習会で指導に当たっていたフォレストぐんま21に入会し、活動を始めて4年目になります。

■ ■ ■ ■ ■
活動するにあたって大変なこと
とはありますか。

長谷川 知識も経験もない素人の私が本当に活動できるのか、最初は不安でした。しかし実際は、親切な先輩方が丁寧に指導してください安心して作業することができました。そんな恵まれた環境なので、大変なことは思い浮かばないのですが、強いて言えば、真夏や真冬の体力面が大変と思うことがあるくらいです。

■ ■ ■ ■ ■
活動を通して目標はありますか。

長谷川 活動して実感したのは、森の整備は思った以上に地道な作業だということでした。ですので自分自身の目標は長く続けて行くことかなと思います。また、若い方がもっと活動に参加してもらえるように、いろいろとお手伝いできたらいいなとも思っています。



笑顔で答える長谷川さん



フォレストぐんま 21 での作業の様子